

梅之木通信

【縄文住居をつくる会】

第9号 2019.9.30 発行

ふるさと倶楽部まつり 盛況のうちに終了

28日のふるさと倶楽部まつりに参加された方も多いかと思いますが、『縄文住居をつくる会』の展示、体験を楽しんでいただけましたか。北杜市埋蔵文化財センターの佐野さんや熊造園の黒田さんにも協力いただき今までのふるさと倶楽部祭りにはなかった、文化的にも意義の深い展示と、かつてなかった実体験が出来る場を提供できたのではないかと思います。ご協力をいただいた皆さんの知恵と力を寄せ合って創りだされた成果だと思います。多くのご協力、ご支援に改めて感謝いたします

★ パネル展示



多くの写真を展示したかったのですがパネルの大きさによる制約もあり、イベント毎に3枚ずつの写真しか掲載できませんでした。

『XXさんは写っているのに、私はあまり写っていない!』等々、ご不満(笑)も聞かれましたがご容赦下さい。個人情報?に配慮し、あまり顔が特定できないものを中心に使いましたが、思いの外、みなさん出たがりであることが確認できましたので、これからは遠慮なく、どしどし顔出し写真も使っていきたいと思います。展示物も豊富で、幅広テーブルを探してきて大正解でした。

★ 埋蔵物文化センター所蔵の出土品

さすが、本物の土器! 迫力が違います!!!
佐野さんから、個々の展示物の年代や発掘場所、土器の用途などの情報もいただき、理解を深められました。

発掘途中の写真もあり、よりリアルに縄文当時の状況に思いをはせることができました。また発掘された場所が自分の住んでいる場所の近くであると、身近に感じる事ができ、なんだか愛着が湧いてきます。これらの土器を使った縄文時代の生活の様子を想像していると、タイムスリップしたようには感じませんでしたか。



★ 石斧体験コーナー

『多くの人にも石斧を体験してもらいたい』 という思いで体験コーナーを準備し始めましたが

- ・立木とは違うのでどのように木材を立たせたらよいか
- ・斧を打ち付けても倒れないようにするにはどうしたらよいか

世話係の中でいろいろな意見を出し合い、“一本よりも三本で支える”、“下からネジで止めるだけではなく上面でもネジで止める” 更には南棟梁が下部へ支柱を加えて体験用の柱が出来上がりました。



▼ 伐採に参加できなかったメンバーも体験してみました



▼ 子供たちも体験に参加
我々と違い力があり余っています
孫のような子に手取り、足取り教えますがご本人は？



▼ さすが太極拳で鍛えた体幹の良さ
いい音を立てて斧が幹に当たります



▼ いちばんはまってしまった今井さん
だんだん止められなくなってしまいました
元きこり？の経験が生きている



【お知らせ】

- * 10月の作業参加予定提出をお願いします。
- * 12日棟上げ式を予定していますので、ぜひご参加下さい。